

第 28 回日本腹部放射線学会

「プレデジタルアトラス」日本語入力要項

I. 主旨

日本腹部放射線学会の「打田賞」の審査は、従来、学会当日の限られた時間内に行われていました。第 24 回研究会からは、発表内容のより詳細な評価が可能となることを目的として、発表者全員に学会ホームページ上でデジタルアトラスの形式で事前入力して頂き、審査員の先生方に評価して頂くこととなり、また学会内容を充実させるために病理コメントターの先生方に事前に関覧させていただく運びとなりました。

II. 入力方法

学会ホームページ上で「プレデジタルアトラス」に入り以下の投稿規程に従って発表内容の入力を行ってください。

III. 入力要項

1. 入力項目の構成

タイトル、著者名、施設/所属名、発表形式、分野は演題登録時のデータを入力済みです。

【症例報告】

- ・はじめに
- ・症例(年齢, 性別, 主訴, 画像所見など)
- ・考察
- ・文献
- ・索引用語

【原著論文】

- ・はじめに
- ・本文(対象, 方法, 結果, 考察)
- ・文献
- ・索引用語

2. 入力文字

1) 文字数

【症例報告】

全体として 3200 字以上 8800 字以内

【原著論文】: 全体として 12800 字以内

- ・ただし、タイトル、著者名、所属、発表形式/演題番号、分野の文字数は含まない。
- ・図(写真も含む)、表は 1 点を 400 字に換算する(ただし、組み写真は各々を 400 字に換算)。
(例) 図 1-A, B, C は図 3 点に相当
(例) 図 15 点を掲載の場合 (400 × 15 = 6000 字に換算)

- 2) 医学用語の表記は「放射線診療用語集」改定第 4 版(日本医学放射線学会編)に従ってください。
- 3) 数字は算用数字を用い、計量単位は原則として SI 単位を用いて下さい。
- 4) 掲載文は和文に限り、図、表などの説明もできる限り和文で表記して下さい。

3. 図(写真を含む)

- 1) 図の解像度は 350dpi(pixel/inch)以上にして下さい。(サイズは 10cm × 10cm を目安にする)

- 2) 図は Power Point フォーマットで作成し、矢印や文字は Power Point 上で記載して下さい。

- 3) 図、表の番号(図 1, 2 など)、説明は Power Point のノート表示の文字記入欄に記入して下さい。(ツールバーの「表示」-「ノート」をクリックし、文字記入欄に記載)

- 4) 病理組織像はできる限り提示して下さい。

4. 参考文献

引用順に番号を付し、本文中に上付番号を付して下さい。

【雑誌論文】

著者名: 表題. 雑誌名 巻: 引用頁, 発行年

- (例) ・小林有香ほか: 複雑痔瘻の MRI. 臨放 44: 469-475, 1999
・Itai Y, Matsui O: Blood flow and liver imaging. Radiology 202: 306-314, 1997

【単行本】

著者名: 表題. 編者名; 書名. 引用頁, 発行所, 発行地, 発行年

- (例) Meyers MA, et al. Meyer's dynamic radiology of the abdomen: normal and pathologic anatomy. 6th ed. New York, NY: Springer-Verlag, 2010: 219-343.

(注) 雑誌名の略称は Index Medicus や医学中央雑誌を参考にして下さい。著者名は 2 名までとし、3 名以上の場合は筆頭者以外を“ほか”または“et al”とする。

5. 索引用語は和文で 3~4 語付記して下さい。

IV. 二重投稿

本デジタルアトラスは打田賞審査委員と病理コメントターの先生方のみに関覧して頂き、一般公開しませんので、他学術誌に投稿する場合には二重投稿に該当しません。

V. 「ホームページ掲載用デジタルアトラス」(会員のみ公開)および「臨床放射線」(金原出版)への投稿の可否について

「ホームページ掲載用デジタルアトラス」および「臨床放射線」への投稿の際は、執筆要項がほぼ同一である本プレデジタルアトラスを活用することが可能です。「デジタルアトラス」は学会終了後にメールにて投稿の可否をとりますので積極的な投稿をお願いいたします。「臨床放射線」は発表内容の審査により投稿推薦させていただきます。詳細につきましては学会終了後にお知らせ致します。